



平成27年度食のみやことっとり キラリと光る食育推進活動

知事表彰

とっとりの食育

第4回
表彰事例集

県内では、数多くの団体が様々な視点で食育活動に自主的に取り組んでいます。地域の特性を活かし意欲的に取り組まれている活動を表彰しましたので紹介します。



智頭町教育委員会



岩美町立岩美中学校給食委員会

鳥取県のこれからの食育で大切にしたい **2**つの基本指針

豊かな人間性を育む食育 ～「栽培・料理・共食」の実践～

私たちは毎日食事をして生活していますが、その食事は、生涯にわたって健全な心と身体を培い豊かな人間性を育んでいく基礎となります。

五感すべてを使う栽培、収穫、料理などの体験を通じて、自分の手で成し遂げる喜びを積み重ねることで「生きる力」の基礎を育み、食べることは命を受け継ぐことであることを実感し、「食」や「食」を支える全ての人、自然の恩恵に対する感謝の心を養うことができます。

食のみやこである鳥取県の 特性を生かした食育

鳥取県は、都市部に比べて農林水産業の現場と消費者との距離が近く、食を身近に感じることができるという利点があります。

四季折々の気候風土に恵まれた県内各地で米・野菜・果物などがバランスよく生産され、水産業では境港が全国でも有数の漁業基地として知られているなど、食を学び体験する環境に恵まれています。

全校お弁当の日

(智頭町教育委員会)



団体の概要

所在地：智頭町智頭2072-1
連絡先：0858-75-3112



活動の概要

智頭町学校給食センター主導で「手作り弁当の日」として始まった食育の取組が、町内小・中学校で継続的に行われており、今年度10年目を迎える。

学校現場では、教科学習（家庭科、技術家庭科）と実践（弁当作り）を関連付けながら取組を進め、児童生徒のみならず教職員もお弁当作りに参加している。

また、学校だけでなく、保護者と一緒に弁当のメニュー決めや朝の弁当作りに取り組んだり、PTA活動を巻き込んだりしながら実践することで、児童生徒の食に対する意識の高まりや、家族のふれあいの時間の充実へとつながっている。

工夫したこと

- 子どもの発達段階や個人差への対応を図っている。
【智頭小の例】
低学年（お弁当作りのお手伝い）、中学年（おかずやおにぎりなどを一品作る）、高学年（家の人に協力いただきながら、自分でお弁当を作る）
- 学校図書館との連携、智頭図書館の協力。

活動の成果

「『今日の夕食は、ぼくが○○を作るから任せて』と子どもが料理を作る機会が増えた」等、弁当作りの経験を生かして、弁当以外の調理についても、関心が高まっている様子が見える。



- 町内の小中学校をあげた、継続性のある取組であること。
- 学校による子どもへの働きかけにとどまらず、家族を巻き込んだ取組であること。
- 子ども自身が主体的に取り組むため、保護者、学校の関わり方の工夫がある。

食育戦隊タベルンジャー

(岩美町立岩美中学校給食委員会)



団体の概要

所在地：岩美町大字浦富707
連絡先：0857-72-0121

活動の概要

食育戦隊「タベルンジャー」に扮した中学生が、夏休みに町内3保育所で食の指導を行う。

好き嫌いしないで食べることの大切さや食事のマナーを、寸劇とクイズで園児に伝えている。

園児達はタベルンジャーからパワーをもらい、食の大切さを意識するようになる。

この取組は、園児に何でも食べようとする意欲を持ってもらうとともに、生徒自身が食の大切さを再認識することを目的としている。

工夫したこと

保育所職員へのアンケートから、啓発して欲しい内容を事前に把握しておく。それらを踏まえ、保育所の年長・年中児を対象とした内容とする。

園児の発達段階に合わせた声の大きさや言葉遣い、立ち振る舞いを考えながら生徒が演じている。

活動の成果

「タベルンジャーとの約束を守って、普段は給食を残しがちな子どもでも残さずに食べる姿がみられます。」といった多くの声を保育所職員からいただいている。



- 中学生の主体的な取組であること。
- 保育園児だけでなく、中学生自身への教育的効果も期待できる。



食を通じて健やかに「生きる力」を育むために

食のみやこととり～食育プラン～(平成25～29年度)より

鳥取県では、「『栽培・料理・共食』を実践し、食を通じて『生きる力』を育み、心身ともに充実した生活を実現すること」を県民の目指す姿とし、食育を推進していくこととしています。

食育を総合的かつ計画的に推進するため、県の関係組織が連携・協力しながら取り組むと共に、家庭（県民）、保育所・幼稚園、学校、生産者団体、食品事業者、地域の団体、市町村等、関係機関とともに鳥取県のこれからの食育を推進していきます。

食を通じて健やかに「生きる力」を育み、心身ともに充実した生活を実現する

基本方針

- ◎豊かな人間性を育む食育～「栽培・料理・共食」の実践～
- ◎食のみやこである鳥取県の特性を生かした食育

県民みんなで実践する4つの重点目標と12の目標

重点目標

健全な食習慣を
実践する

食に対する感謝
の心を養う

豊かな食文化を
継承する

食に関する正しい
知識を持つ

目標

家族や友人と楽しく食卓を囲む

主食・主菜・副菜を揃えた食事を
する

1日3食、規則正しく食事を
する

体験活動を通して
食と農林水産業の関わりを
理解する

食事づくりや準備に関わる

食事のあいさつを実践する

地元のおいしい食材の良さを
学び活用する

地域の郷土料理を学び、
継承する

とつとりの食を情報発信する

食の安全について正しく
理解する

食品表示を参考に食品を
選択する

食生活と生活習慣病の関わりを
学ぶ

鳥取県食育推進活動知事表彰について <http://www.pref.tottori.lg.jp/206386.htm>
鳥取県食育推進計画について <http://www.pref.tottori.lg.jp/82928.htm>